

令和元年6月下旬からの大雨への派遣

- 九州地方整備局をはじめ、近畿、中国、四国地方整備局等から派遣したTEC-FORCE(6/30~7/8 のべ512人・日)が、鹿児島県と宮崎県を中心に8県7市村で被災地支援活動を実施
- 防災ヘリによる被災状況調査を「はるかぜ号」と「愛らんど号」の2機体制で実施し、被害全容を迅速に把握
- 学識経験者(九州地整TEC-DOCTOR)合同による上空調査も行い、TV会議を通じ今後の土砂災害の危険性など解説
- 被災自治体の支援ニーズを確認し、河川や道路など、被災した自治体所管施設の被災状況調査を実施
- 山間部の斜面崩落箇所では、ドローンを活用し迅速な詳細調査を行い、被災自治体の復旧活動を支援
- 道路啓開の夜間作業を支援するため照明車を派遣し、緊急車両等の迅速な確保に貢献



九州地整・はるかぜ号

九州地方調査に向け合同庁舎を出発
(四国地整・愛らんど号)

防災ヘリ2機体制による
上空からの被災状況調査



被災自治体村長から支援ニーズを確認
(宮崎県西米良村)



ドローンによる崩落
斜面の詳細調査

(鹿児島県鹿屋市輝北地区)



被災地支援の準備を進める
照明車と衛星通信車
(鹿児島県南さつま市役所)



学識経験者による上空調査結果の解説
(九州地整・災害対策本部)



自治体所管施設の被災状況調査
(鹿児島県曾於市)



ドローン調査映像をリアルタイムで
確認する災害対策本部(中国地整)



道路啓開夜間作業を照明車が支援
(宮崎県串間市 国道448号)